

編集後記

櫻花と共に學會シーズンを送つて、はや青葉若葉の緑の季節を迎える。萬物青々、ピロードの如き5月は、生命の息吹きが劇しい。特に今年は、待望の講和が成立し、獨立の祝典もこの期間に於て催されるという。再建日本の將來が、この季節に於ける草木の如く生々潑潑たるものとなることは、國民の竊しく望む處であらう。吾々病院人にとつても一つの慶びに堪えないことは、宿望の病院管理學講座が遂に我が國に於ても實現したことである。全國大學にさきかけて、東北大學醫學部では今年度の新講座として、本講座を發足せしめることになつた。幸いこの講座新設に盡力された篠田附屬病院長より御抱負を伺うことができたが、本誌では社説を掲げ、心からその誕生を祝すると共に、その順調な成長を祈つて止まない。何分にも我が國最初のテストケースであるので、吾々病院人の溫い、理解ある支持と應援が必要であらうと思う。

本號は、時節柄というか、大分多彩な編集となつた。目下病院として問題になつてゐる諸々の問題がズバリ面を並べた感がする。國立病院の地方

移讓問題を含め、地方醫療體制の整備問題が具體的に検討されている今日、齋藤部長による「岩手縣の醫療公營」は他山の石として參考になると思われる。

看護と給食の問題は結局病院管理の死命を制する二大要件だが、又今日病院管理者の頭を最も悩ますものでもある。長らく續いた畑氏等の精細な看護のタイムスタデーは本號で完結。廣尾病院が新しいものをどしどしとり入れて行かれる積極性は全く羨しい。矢張り職員の協力態勢を整えることが先決問題であらうか。

來月、別項の通り第2回病院學會がある。奮つて御參會あらんことを希望します。(編者)

—表紙説明—

寫眞は、順天堂病院正面玄関

社告

本誌次號(第6卷6號)は臨時倍大號として特集座談會「現行醫療法を徹底的に検討する」を掲載いたします。定價は1部240圓、送料15圓です。予約御購読の方は2號分の誌代として計算いたします。

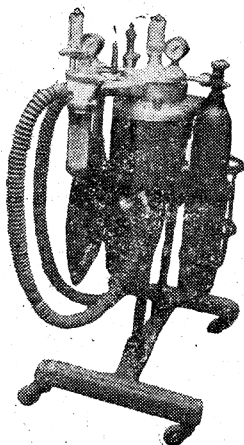
醫學書院

最新 麻醉學の購讀者に贈る

東大福田外科教室指導

双胴式閉鎖循環式 高壓麻醉器 (賣價) 16萬圓

泉工醫科工業株式會社製
(東京都文京區金町73)



當選番號 318

前後賞 骨髓分節麻醉カテーテル及び穿刺針

4月3日京都の外科學會々場で抽籤の結果左の如く當選番號がきまりました。

賞品引渡 4月3日より4月末日までチケットと引換にお渡申上げます。當籤者はお使用法に付製作會社と御協議なさることが便宜と存じますので御上京を御願申上げます。往復旅費は遠近に拘わらず弊社で負擔致します。尚前後賞の方はチケットを書留にてお送り下さい。

東京都文京區本郷6/20
振替東京 96693
電話小石川(85) {0741・1201・1470
{1773・4078・4079

株式會社

醫學書院

分室 東京都文京區駒込林町172
電話駒込(82) 0714・1605